

第1回第二次小平市のスポーツ振興の基本方針 策定検討委員会

会議要録

日時 平成28年5月13日(金)

午後2時00分から

会場 中央公民館1階会議室

○出席委員

- | | | |
|----|--------|---------------------|
| 1 | 中村 平 | 東京女子体育大学体育学部 教授 |
| 2 | 澁谷 茂樹 | 公益財団法人 笹川スポーツ財団 |
| 3 | 高山 浩久 | 公益社団法人 東京都障害者スポーツ協会 |
| 4 | 小倉 悟 | 小平市社会福祉協議会 |
| 5 | 山田 正樹 | 小平第十小学校 学校長 |
| 6 | 荒武 宗昭 | 一般社団法人 小平市体育協会 |
| 7 | 尾崎 信幸 | スポーツ推進委員 |
| 8 | 後調 正則 | 公募市民 |
| 9 | 佐藤 恵子 | 公募市民 |
| 10 | 椎名 久美子 | 公募市民 |
| 11 | 夏秋 利恵 | 公募市民 |

○欠席委員

- | | | |
|--|------|-------------|
| | 星野 実 | 小平第二中学校 学校長 |
| | 阿部 仁 | 公募市民 |
| | 渡辺 仁 | 公募市民 |

○事務局 地域振興部文化スポーツ担当部長

スポーツ振興担当課長

スポーツ事業推進担当係長

○傍聴者 1名

○委託事業者 2名

○議事

- 1 市長あいさつ
- 2 自己紹介
- 3 委員長、副委員長選任
- 4 第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定について
 - (1) スポーツ振興の基本方針の概要について
 - (2) 基本方針策定に関わる視点の例示について
 - (3) スポーツに関する市民意識調査の調査項目(案)について
 - (4) 基本方針策定スケジュール概要(予定)について
- 5 その他

1 市長あいさつ

検討委員会開催にあたり、小林正則市長よりあいさつが行われた。

2 自己紹介

文化スポーツ担当部長が、議事録要旨の公開について説明を行ったのち、各委員より自己紹介が行われた。

3 委員長、副委員長選任

事務局のあいさつののち、配布資料の確認等が行われた。

委員長の選任については、委員より「事務局一任」の発案を受け、事務局提案を基に中村委員が委員長に選定された。委員長より荒武委員が副委員長に推薦され、委員に承認された。

4 第二次小平市のスポーツ振興の基本方針策定について

委員長、副委員長よりあいさつが行われた。

傍聴者が入室したのち、議事が進められた。

議事（1）スポーツ振興の基本方針の概要について

スポーツ振興担当課長が、資料2を用いて、スポーツ振興の基本方針の概要について説明を行った。

委員長 資料2について、何か意見はあるか。
なければ次の議事に進むこととする。

議事（2）基本方針策定に関わる視点の例示について

スポーツ振興担当課長が、資料3を用いて、基本方針策定に関わる視点の例示について説明を行った。

委員長 基本方針策定に関わる視点の例示については、検討委員会終了後でも、事務局は意見を受け付けるのか。

事務局 受け付ける。

委員長 委員は意見があれば、事務局に提示してほしい。
次の議事に進むこととする。

議事（3）スポーツに関する市民意識調査の調査項目（案）について

スポーツ振興担当課長が、資料4を用いて、スポーツに関する市民意識調査の調査項目（案）について説明を行った。

委員長 資料4について、何か意見はあるか。

委員 調査について意見が4点ある。1点目は、調査で「スポーツをしたいけどできていない」市民のニーズを的確に把握する設問があるとよいと考えている。国等が行っている調査も参考にして設問・選択肢を設定できるとよい。2点目は、市内・市外を問わず「民間のスポーツクラブに所

属しているか」という設問があるとよいと考えている。その設問により、市民の運動やスポーツの多様さが整理できるとよい。3点目は、小平市はスポーツボランティアの取組が機能していると感じているため、状況を把握できる設問があるとよいと考えている。4点目は、学校施設の開放について設問があるとよいと考えている。

事務局 ご意見を参考に調査票を設計し、次回検討会で提示する。
調査結果について、国の調査結果などと比較し、小平市の特徴を整理したい。

委員 笹川スポーツ財団が行っている調査も参考にできるとよい。
委員長 調査・集計の方針は検討委員会で決めるのか、それとも事務局で決めるのか。

事務局 事務局で調査分析を進めていくが、クロス集計等について意見があれば、検討委員会でも伺っていきたいと考えている。

委員長 例えばスポーツに関する情報の入手手段は、スポーツをしている人としていない人で異なると思う。クロス集計を行って、こういったことを把握していけるとよいと考えている。

委員 障害者スポーツの推進を考えると、回答者に障害の有無を聞く設問があってもよいのではないかと。

委員 障害者スポーツの認知度についても設問があるとよい。市内でも地域的な特徴が出てくるのではないかと。

委員長 障害については、どの程度まで細かく尋ねるかを検討する必要があるのではないかと。

委員 事務局でも検討してほしい。

議事（４）基本方針策定スケジュール概要（予定）について

スポーツ振興担当課長が、資料5を用いて、基本方針策定スケジュール概要（予定）について説明を行った。

委員長 資料5について、何か意見はあるか。
なければ、全体を通してフリートークの時間とする。

委員 障害者スポーツの施策推進については、まず、障害者自身とその家族までもが「スポーツはできない」と思っているところを解消することが必要だと感じている。小平市社会福祉協議会では「誰もがスポーツを楽しめる」ということを念頭に取組を進めた結果、障害者自身だけでなく、障害者スポーツを支える人や地域と地域がつながってきた。今後は国が地域包括ケアシステムの実現に向けて様々な取組を進めると聞いているが、その中でスポーツも組み込めるとよいと考えている。

委員 スポーツ推進委員としても、市民の誰もがスポーツを楽しんでほしいと考える中で「ニュースポーツデー」を開催し、障害者スポーツの理解促

進にも取り組んでいる。

委員長 全国各自治体に総合型地域スポーツクラブというものがあるが、小平市ではどのような状況にあるのか。

事務局 小平市にはラグビーを中心としたクラブが1つある。しかし、市と積極的に何か取り組んでいる状況ではない。小平市ではこれまで体育協会加盟の各団体が中心となって市民のスポーツの場や機会の充実に取り組んできたという経緯がある。

委員 小平市体育協会では、32の加盟団体が小平市やスポーツ推進委員と連携して市民のスポーツの場や機会の充実に取り組んでいる。また、小平市民総合体育館の指定管理者として、施設の管理・運営事業にも取り組んでいる。

委員 小平市は障害者スポーツの取組は行われており、推進体制は整っていると感じている。今後も、より一層、多種多様な障害者スポーツを推進していくために、大人だけでなく、子どもも含めて広く障害者スポーツの理解促進の取組を進めていけるとよい。

事務局 2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けた盛り上がりの中で、小平市でも取組を推進していけるとよいと考えている。

委員 市内の各小学校では2020年東京オリンピック・パラリンピック開催に向けて、国際理解教育等の取組などが進められている。今後もスポーツを通して世界の国の事を知ったり、体力向上につながる取組を進めたりしていく。

5 その他

第2回委員会は6月24日の午後2時から中央公民館1階会議室で行うこととなった。

以上